JAPAN INTERNATIONAL DIE & MOLD MANUFACTURING TECHNOLOGY EXHIBITION
INTERMOLD 2012
第23回金型加工技術展

金型展2012
Die & Mold Asia 2012

JAPAN METAL STAMPING TECHNOLOGY EXHIBITION
金属プレス加工技術展
2012

金型の最新技術 一堂に

18日―21日 インテックス大阪

18日から21日までの4日間、大阪市住之江区のインテックス大阪で日本金型工業会などが主催する「INTERMOLD2012（第23回金型加工技術展）」「金型展2012」と、日本金属プレス工業協会主催の「金属プレス加工技術展2012」が開かれる。「金型」「金属プレス」の最先端の素形材技術を同時に開催することで、金型の設計・製造から成形加工まで一連の最新技術を体感することができる。入場料は1000円（招待券持参者と事前来場登録者は無料）。開場時間は10時から17時まで。

金型の重要性を再認識する場として注目

「INTERMOLD2012」「金型展2012」「金属プレス加工技術展2012」には、工作機械・機器メーカーをはじめ、切削工具、CAD／CAM、CAE関連、測定機器、試作、表面処理技術、金属プレス加工事業者などが一堂に集まる。今回は国内外から306社・団体（801小間）が出展する。

昨年は東日本大震災の影響で展示会自体が中止となった上、金型業界も大きな影響を受けた。震災後の復旧・復興が進んでいるものの、まだまだ先行きが見えない状況である。こうした中で今回の展示会を迎えるに当たり、「金型」という原点に振り返ることでモノづくりを盛り上げるきっかけにしようとする意図で行われる。

また、韓国・サムスン電子など海外からの視察団も多数参加することが期待されている。日本の出展企業は海外との関係を築くことができ、海外に商品を売ったり、海外に工場を進出したりすることが可能となる。

展示以外にもさまざまな企画を用意している。その一つとして、INTERMOLDと金型展の会場内で「第4回学生金型グランプリ」が開かれる。日本や中国、韓国の大学で「金型」を学ぶ学生たちが同じテーマで製作した金型と成形品を発表する。日本からは九州工業大学など5大学、中国から3大学、韓国から3大学が参加する。また、20日10時10分からオープンセミナー第3会場で参加大学の学生によるプレゼンテーションを行う。

このほか、18日11時からの基調講演ではダイハツ工業の白水宏典相談役・技監を迎えて「ダイハツ工業が描く次世代のものづくり」をテーマに講演する。また、日本金属プレス工業協会が技術セミナー「サーボプレスと新しい成形技術」（19日13時半から16時40分）、特別講演会「話題のプレス最新技術」（20日13時から17時）を行うほか、出展企業による「テクニカル・ワークショップ」「オープンセミナー」を行う。

さらに、主催者特別展示企画として、18日13時から日本自動車部品工業会による特別講演会「日本自動車産業の現状～アジア地域での各国の追い上げ（中国、インド、韓国の現状）」、日本自動車部品工業会とまんてんプロジェクトによるプレゼンテーションや航空機・自動車部品の展示も行う。

今回の展示会を通じて、いかにして日本の金型メーカーがグローバル時代に海外メーカーとの競争に打ち勝ち、未来を切り開いていくのかが見えてくることから、非常に重要な意味を持つと言える。

メッセージ

海外進出や連携を課題に

日本金型工業会会長　上田　勝弘氏

このたびはINTERMOLD2012／金型展2012／金属プレス加工技術展2012へのご来場を賜り厚くお礼申し上げます。また、開催に際し多大なるご支援・ご協力を賜りました関係諸官庁ならびに各出展企業、関連諸団体の皆さまに、無事盛況裏にこの日を迎えることとなりましたことをご報告申し上げますとともに重ねて厚くお礼申し上げます。

この開催を迎えるにあたり、昨年3月の東日本大震災という未曽有の大災害を思い出さざるを得ません。いまだ多くの被災者が復興へ向けた険しい道のりを歩み始めたばかりかもしれません。本展も昨年4月に予定であった第22回開催は中止となりましたが、今年は皆さまのご支援のもと新たな第一歩を踏み出すことができました。主催者として、被災地域はもちろん日本経済の一日も早い復興と発展に貢献できることを切望しております。

この一年を振り返り、先に触れた東日本大震災と原発問題、電力問題、台風・豪雨災害、タイの洪水被害、長期の超円高など、日本の製造業界は戦後最大の受難の年であったと思います。今なお、電気、材料、輸送費、法人税率など、競合するアジア諸外国に比べても全てコスト高であり、成長に大きな足かせとなっていることは間違いありません。このような環境下では日本の〝モノづくり産業〟、特に我々金型産業においても大手ユーザーの海外進出が止まらず、日本の誇る高い技術力という武器を持ってしても、金型の海外調達に歯止めをかけることは困難となっております。しかしながら、私どもは日本経済が復興を遂げるためには、モノづくり産業が今後も発展することが不可欠と信じ、さらなる業界の成長、発展を目指すという強い信念を持って挑むほかありません。

自らの得意分野をより一層強化し競争力を高め、その高水準の技術で仕事を受注し利益を生み出せる企業体制を整え強化することは、これまでにも業界の課題として取り組んで参りました。今後はさらに強い企業を構築する上で、積極的に海外進出する営業体制や、同業他社や異業種も含めた企業連合による企業力の強化にも取り組まなければいけません。継続的な成長のためには、国内の人材育成や海外との人的ネットワークの構築、産学官連携を用いた研究開発力の強化、中小企業への補助・支援制度を有効活用することなども不可欠です。このように急速な産業構造や市場環境の変化が繰り広げられており、国内外のユーザーニーズをキャッチしながら経営戦略も迅速な対応を求められる時代となっております。

日本金型工業会は、これから多くの課題について会員の皆さま方と一体となって取り組み、業界発展の道しるべとなるべく協会活動を行って参る所存です。このような現状を踏まえ、本展開催において適切かつタイムリーな情報提供とビジネス交流の場を提供することが、今後のわが国の金型産業、ひいては製造業界の発展・振興の一助となるものと考えております。

最後に、関係各位のご協力のもと、本展示会が盛大に開催できますことを重ねてお礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りますことをお願いし開催のごあいさつとさせていただきます。

メッセージ

競争力強化へ開発推進

日本金属プレス工業協会会長　畫田（ひるた）　眞三氏

金属プレス加工技術展2012の開催にあたりましてごあいさつ申し上げます。

昨年は東日本大震災によりまして東京での技術展開催をやむなく中止することになりましたが、今回金属プレス加工技術展2012が機械メーカーをはじめ、関連業界、会員企業の方々のご協力により開催できましたことに対しまして厚くお礼申しあげる次第です。

金属プレス工業は自動車、情報家電、産業用機械から日用品雑貨に至るまで、あらゆる産業にプレス部品を供給するわが国の基盤産業であります。近時、国際化の進展によって、海外との価格競争が一層激化し、これにより、国内における新技術への取り組みによる国際競争力の強化が喫緊の課題となっております。

本業界では新興国の追い上げによる熾烈な価格、技術の競争の中で金属プレス業界の競争力強化に向け、燃料電池用セパレーターの開発、厚鋼板加工技術の開発など技術開発に取り組みを積極的に推進し、ユーザー企業に高品質なプレス製品を提供するための努力をしております。

国際的な大競争の中で昨年の大震災やタイの洪水などにめげることなくわが国のモノづくり産業が大きく飛躍していくためには、金型などの関連業界との連携も一層必要とされており、この展示会の開催は日本のモノづくり企業の力強さを世界にアピールできるものと確信しております。

本協会では4月1日から一般社団移行に伴い、会員企業の方々とともにわが国の金属プレス業界の国際競争力の強化に向けた取り組みと業界の基盤強化により一層努めてまいります。

結びとなりましたが、厳しい環境にもかかわらず皆さま方のご協力により、本展示会の開催が迎えることができましたことを改めて厚くお礼申しあげますとともに、昨年の東日本大震災により被害を受けた多くの方々の一日も早い復興を祈念いたしまして開催のごあいさつとさせていただきます。

INTERMOLD 2012 第23回金型加工技術展
Booth No. 6A-802

セミナー開催 入場無料
「金型加工における加工技術の融合」
講師：エンジニアリング本部 DMG加工技術部 ゼネラルマネージャー 加治 敏
日時：4月21日(土) 13:30～14:15

● セミナー内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。当日、席に限りがございますので予めご了承ください。

DDM: Direct Drive Motor　BMT: Built-in Motor Turret　ORC: Octagonal Ram Construction

株式会社 森精機製作所
■名古屋本社　名古屋市中村区名駅2丁目35-16（〒450-0002）TEL. (052) 587-1811　FAX. (052) 587-1818
■東京支社　東京都港区港南2丁目15-1 品川インターシティA棟18階（〒108-6018）TEL. (03) 5460-3570　FAX. (03) 5460-9610

株式会社 森精機セールスアンドサービス
名古屋市中村区名駅2丁目35-16（〒450-0002）TEL. (052) 587-1862　FAX. (052) 587-1864

修理やパーツのご依頼・技術相談に関するお問い合わせは…
サービスセンタ
フリーコール 0120-124-280
フリーコール 0077-78-0222
24時間 365日 通話無料